

福岡女子大学  
福岡女子大学同窓会筑紫海会  
韓国文学翻訳院 共催  
平成28年度 特別講演会

## 三人が語る、 書くことのたのしみと 作家としての生き方

**日時** 2016年9月22日(木・祝)  
13:00 開場  
13:30 開演(通訳あり)  
16:00 閉会・サイン会  
**会場** アクロス福岡7階大会議室  
(福岡市中央区天神1-1-1)  
**定員** 先着200名  
**協力** 書肆侃侃房、ポプラ社、新幹社  
参加無料

# 日本と韓国の 女性作家はいま

日本で歌人、小説家、脚本家として活躍中の東直子さん、韓国で小説家として活躍中の千雲寧(チョン・ウニョン)さん、金仁淑(キム・インスク)さんをお招きして、トークイベントを開催します。作家になったきっかけや、家族のこと、日本と韓国の女性作家の活躍ぶりなどについて語っていただきます。



## 東直子(ひがし なおこ)

1963年広島県生まれ。歌人、作家。神戸女学院大学家政学部食物学科卒業。1996年「草かんむりの訪問者」で第7回歌壇賞受賞。2006年『長崎くんの指』(のちに『水銀灯が消えるまで』)で作家デビュー。2016年『いと森の家』で第31回坪田譲治文学賞受賞。歌集に『春原さんのリコーダー』『青卵』『十階』、小説に『とりつくしま』『さようなら窓』『晴れ女の耳』、エッセイ集に『鼓動のうた』『七つ空、二つ水』、評論集に『短歌の不思議』など、著書多数。



『いと森の家』  
ポプラ社(2014)



## 千雲寧(チョン・ウニョン)

1971年ソウル生まれ。作家。漢陽大学新聞放送学科、ソウル芸術大学文芸創作学科卒業。2000年短編「針」(東亜日報新春文藝)でデビュー。主な著作に『針』『彼女の涙の使用法』『母さんの知ってのとおり』長編小説『さよなら、サーカス』など。2003年申東暉創作賞受賞、2016年の芸術賞受賞。2016年に、初邦訳長編『生姜』を新幹社から出版。



『生姜』  
橋本智保訳、新幹社(2016)



## 金仁淑(キム・インスク)

1963年、ソウル生まれ。作家。延世大学新聞放送学科卒。1983年、朝鮮日報新春文芸に選ばれ、創作活動を始める。『共に歩む道』『白刃と愛』『ガラスの靴』『プラスバンドを待ちながら』『その女の自叙伝』『血縁』『炎』『79—80年の冬から春の間』『長い夜、短く近づく朝』『だからあなたを抱きしめる』など多数。韓国日報文学賞、現代文学賞、李箱文学賞、イス文学賞、大山(デサン)文学賞などを受賞。2016年9月に書肆侃侃房から初邦訳短編集『アンニョン・エレナ』を出版予定。



『アンニョン、エレナ』  
和田景子訳、書肆侃侃房(2016)

## コーディネーター 田島安江(たじま・やすえ)

詩人、書肆侃侃房代表

# 日本と韓国の女性作家はいま

三人が語る、書くことのたのしみと作家としての生き方

## 参加申込書

fax **092-692-3220**

下記の欄にご記入の上送信ください

ふりがな	
お名前	
連絡先	〒  tel  fax



### 【申込および問合せ】

#### 福岡女子大学地域連携センター

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1-1-1

Tel:092-661-2728 | Fax:092-692-3220

E-Mail:rcl@fwu.ac.jp

### 【会場のご案内】

#### アクロス福岡7階大会議室

福岡市中央区天神1-1-1

①氏名(ふりがな)②住所③電話番号④FAX番号(FAXでお申込みの方)をご記入の上、FAX、E-Mail、葉書にてお申込みください。

電話でも受け付けております。(平日9:00~18:00)

先着200名をオーバーしないかぎり連絡はしませんので、当日直接会場にお越しください。

※頂戴した個人情報は、特別講演会の実施・運営、センターからのご案内等に使用させていただきます、他の目的には使用しません。